

事業所名

放課後等デイサービス  
あんだる(ANDAR)

## 支援プログラム

作成日 令和7年2月18日

法人(事業所)理念	わがん 「和顔」にこやかな笑顔	えがお 「愛語」やさしいことば	あいご 「愛語」やさしいことば	さんたん 「賛嘆」ほめたたえる
支援方針	①「家庭のような空間」を目標に、お子さまに安心していただけるような環境を作ります ②「生きていくための力を身につける」療育を目指し、家庭でも一緒に行えるようなプログラムを実施します ③「1日1つ、よかった探し」を行い、自分にも何かできる事があるといった成功の喜びや自信をつけてもらい、成長を支えていきます			
営業時間	・登校日：放課後 から 18時00分 まで ・休校日：8時30分 から 17時00分 まで	送迎実施の有無	開始時(迎え)のみあり ※終了時(送り)は要相談	
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	■体調管理・感染対策の徹底：利用開始時の検温や手洗い・手指消毒といった清潔保持の支援 ■基本的な生活スキルの習得：整理整頓や更衣といった身の回りの事ができるよう支援する ■生活リズムの形成：一日のスケジュールを提示し、時間や流れを意識しながら行動する事で生活リズムを身につけてもらう		
	運動・感覚	■創作活動による壁面飾り作り：いろいろな材料を使う事で指先の感覚を養い、季節を感じる飾りつけによって視覚的にも楽しめるよう支援する ■集中できる環境作り：個室(学習室)を確保したり、作業ごとの机を配置する等して環境・場所を提供する ■フットサル：月曜日・水曜日は JOY FIELD 15 MUNAKATA でフットサルを行う(熱中症対策のため夏期は中止とし、天候不良等の理由で変更する場合あり)		
	認知・行動	■工程表による作業療育：作業前には工程表を使って説明し、作業への理解をスムーズに促して自ら作業を進める ■スケジュールの自己選択・自己決定：スケジュール決めを自身で行い、見通しを持って自主的に行動できるよう促す ■視覚ツールを用いた支援：利用者の特性・ストレングスを活かし、イラストや絵カード等を用いて利用者に合わせて支援を行う		
	言語・コミュニケーション	■集団療育によるコミュニケーション支援：集団活動や他者との関わりの中で相手の意図を理解したり(受容)、自分の考えを伝える(表出)支援 ■利用者に合わせてコミュニケーション支援：絵カードやジェスチャー(指差しや身振り)を交えた意思疎通の支援 ■その他：さまざまな人とコミュニケーションがとれるよう、何気ない会話や日常会話を積極的に行う		
	人間関係・社会性	■人間関係の形成・集団への参加：戸外活動等により、基本的な人との関わり方・集団での活動スキルを身につける ■買い物支援：実際にスーパー・100円ショップ等へ買い物に行き、金銭のやり取りや商品の受け取りを経験し、外出のマナー等の理解を促す ■交流のある事業所作り：当法人内にある他事業所の利用者や職員との関わりを持ち、社会性を身につける支援を行う		
家族支援	■家庭での困り事に対する助言やサポート ■家族のレスパイト ■延長支援サービス	移行支援	学校・他事業所等の関係機関との情報共有・連携	
地域支援・地域連携	■当法人の地域貢献事業(たけのこクラブ)への参加 ■ピバモール 赤間(ゆめマートやDAISO等)への買い物 ■地域の祭り(JOY FIELD 15 MUNAKATA等)への参加	職員の質の向上	■一人ひとりの利用者に対する担当者会議・ケース会議の実施 ■当法人の職員研修(年4回ほど)や資格取得の支援 ■当法人の委員会(感染対策・事故対策等)による安全管理の共有	
主な行事等	■年1回(季節行事等)：移動動物園・補助犬協会・七夕(7月)・すいか割り(8月)・むなかた苑 開苑祭(9月)・秋祭り・運動会(10月)・ハロウィン(10月)・収穫体験・クリスマス会(12月)・初詣(1月)・節分(2月)・ひな祭り(3月)・卒業パーティー(3月)・花見(3月) ■年2回以上：キッチンカー(年2回)・防災避難訓練(年2回)・たけのこクラブ(年3回)・クッキング(年6回)・近隣施設や公園へのお出かけ			